黒田みちのたんぽぽだより NO244（2023年2月・3月）

ブログ　たんぽぽだより

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして
みんなが住んでよかったと思える川西市に・・・

# たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員団控え室 TEL740-1111（内線4020）
直通FAX759-1811
黒田みち事務所 TEL 795-4760
たんぽぽだよりブログ
http://kurodamich.exblog.jp

令和5年度予算案

# 新規・高校生の入院費無料（所得制限あり）

# 中学卒業までの医療費・所得制限なくしすべてのこどもに適用

日本共産党議員団の2023（R5）年度予算編成要望に対して2月7日、松木茂弘副市長、石田有司総合政策部長から回答があり、議員団（黒田・北野・吉岡）と懇談しました。回答では、こども医療費無料化が、所得制限をなくして中学3年生までのすべてのこどもに適用されるなど、いくつかで要望が実現・前進しました。市民の願いが実ったもので喜んでいます。

## 国と県に要望や意見を

予算要望や懇談では、市が市民のいのちとくらしを守る立場から、国に対して集団的自衛権の行使をやめること、核兵器禁止条約への署名を行うこと、年金引き下げなど社会保障制度の悪化ではなく充実させること。県に対して県政の課題（猪名川の河川改修や学校における少人数学級の促進など）について、積極的に意見を述べることを求めました。

これらの要望に対する回答では、残念ながら「国政の問題であり、地方自治体として意見表明を行う考えはございません」という残念な言葉が並んでいます。

## 自衛隊・米軍基地を抱える市として

しかし、市民のくらしは、国政や県政と深くかかわっており、必要な意見や要望は出していくべきです。

とくに最近では、自公政権が、軍事力の大幅拡大などの「安保3文書」を閣議決定。アメリカと自衛隊が融合して「敵基地攻撃能力を保有」し、公然と行使できる計画を進めており、久代・伊丹の自衛隊基地（米軍基地も設置）が攻撃の的になることも考えられます。

ロシアのウクライナ侵略をみれば、学校や病院への攻撃、市民が犠牲になるのですから、絶対に戦争させないことなど強く意見を述べるべきだと伝えました。

## 学童保育でランチ提供も

市の施策では、議員団が長年にわたって要求し続けてきた「こども施策」が前進します。

7月から、こどもの医療費無料化（中学校卒業まで）の所得制限がなくなり、新たに高校生の入院費無料化（[redacted]）がはじまります。

また、留守家庭児童育成クラブで、年末年始などの休みを縮小（6日分）させる、夏季休暇のランチ提供（有料、今年は公立クラブで実施）が予定されています。

## がん検診無料化、免許返納報償

がん検診の無料化や自動車免許返納者（70歳以上）への報奨制度などもはじまります。

現在実施している胃がん、前立腺がん、肺がん、乳がん、子宮がんなどがん検診の無料化が拡大します。

自動車免許返納者（70歳以上）への報奨制度がはじまります。返納者には5000円のカードが渡されるなどが実施されます。

## 北部の医療確保など課題も

一方、旧川西病院の跡地利用、北部の医療確保、地域公共交通の確保・創設など、市民生活を支える取り組みについては、まだまだ課題は山積です。

その後、9日には、議会運営委員・常任委員長合同会議で令和5（2023）年度予算の概要説明が行われました。老朽化している北消防署の再編などの項目があがってきています。

## 東谷・清和台幼稚園は？

清和台・東谷幼稚園の存続を含め注視していかなければなりません。これから詳細が明らかになっていきますから、皆さんに情報をお伝えすると共に、皆さんと一緒に、市役所が公的な役割をしっかり果たすことができるように、声をあげ行動していきたいと考えています。

主な新規・拡充施策の一部は下表のとおりです。

2023（令和5）年度　新規・拡充事業の一部（資料より抜粋）

| 事業 | 内容 |
|---|---|
| 乳幼児等及びこども医療費助成（7800万円） | 7月より<br>中学卒業まで所得制限なしで無料化<br>高校生入院無料化（所得制限[redacted]なし） |
| 留守家庭児童育成クラブ（1066万円） | 12月28日・1月4日、入学式や卒業式など開所日・6日分増 |
| 高齢者の運転免許返納・報奨制度 | 70歳以上　対象者に5000円カード等 |
| がん検診無料化（1341万円） | 検診の自己負担分無料化 |
| ヒートショック対策工事助成（175万円） | 住宅改造費助成の対象にヒートショック対策工事を追加 |
| 民間園への支援<br>（おむつ　57万円）<br>（送迎バス　313万円） | おむつ処分費を助成<br>送迎バス等への置き去り防止センサー等への支援 |
| 校内フリースクール（2826万円） | 市立全小・中学校において運営実施 |

☆人口減少や高齢化など社会環境の変化を捉えながら、地域住民と協同して、「北部のまちづくり方針」を策定（279万円）

☆持続可能な地域公共交通確保するため、地域・行政・事業者が一体となって行う、移動課題の解決に向けた検討への支援（60万円）

☆平野山下線・大和団地線の再編を地域公共交通会議で協議するため、利用実態調査を実施（229万円）

☆R6年以降の駐輪場有料化予定の駅周辺での路上駐輪防止のための自転車等放置禁止区域を示す看板等設置（600万円）

☆北消防署など老朽化した消防施設の再編と合わせ、北部の災害・救急拠点に向け、場所の選定、必要な機能の検討を行います。（1500万円）

**市民にとって前進・拡充するものもありますが、まちづくりとして注視していかなければならないものもたくさんあります**